



令和4年度 1人1日当たりの
家庭系可燃ごみの排出量[※]が少ない市町村で
**大口町が愛知県内で
5年連続 1位に**

皆さんの
ご理解とご協力に
よるものです

(単位: g)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
第1位	幸田町	408	幸田町	411	大口町	410	大口町 幸田町	420	大口町	424	大口町	421	大口町	412
第2位	大口町	411	大口町	412	幸田町	411			江南市	432	江南市	427	江南市	421
第3位	江南市	436	豊橋市	425	豊橋市	422	豊橋市	421	豊橋市	439	豊橋市	429	豊橋市	433

(出典: 平成28年度～令和4年度愛知県一般廃棄物処理事業実態調査)

※ 1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量とは、家庭から排出されるごみのうち、古紙類や金属類、プラスチック類などの資源ごみを除いた、1人1日当たりのごみの量です。



左から室岡あけみさん・柿木原真一さん・岡田大輔さん

大口町の戸別収集を支える収集作業員さん

大口町の人口は2万4083人、世帯数は1万51世帯（令和6年7月現在）。町民の皆さんが出す可燃ごみの量は1日で約9・12tになります。

年末年始と日曜日を除き、雨の日も風の日も、私たちが集積所へ出した可燃ごみを回収し、江南丹羽環境管理組合環境美化センターへ運んでいるのが（株）倉衛工業（江南市）の収集作業員さんです。今回は収集作業員の室岡あけみさん、柿木原真一さん、岡田大輔さんにお話を伺いました。

作業で大変なことは

夏場は車を乗り降りしながらごみの積み込みを繰り返すので、体力的にも厳しいところがあります。熱中症にならないよう、こまめに水分補給をしています。

可燃ごみ

大口町の収集業務に携わって18年になる室岡あけみさんは、最近ごみが減ってきたと感じます。皆さんが『ごみとなる物の量を減らす』『分別をすることでごみを資源にする』こうした意識を持つ人が増えてきたからでしょうね。

とはいえ可燃ごみの中には、分ければ資源になりそうなものが混ざっ

ていることもあります。ルール違反

のごみがあった場合は、警告ステッカーを貼り、その場に残していきます。1日に5枚から10枚の警告ステッカーを貼る可燃ごみが出されています。これはごみ収集車（塵芥車）や環境美化センターに支障が出るのを防ぐためでもあります。

他に、ガラス被害によって生ごみが散乱した場合は、可能な範囲で掃除をしますが、カレーやシチューの食べ残しなどは地面に張り付いてしまつので、手ですくって回収します。ごみの分別やガラス対策についてご協力をお願いします。

嬉しかったことはありませんか

心が温かくなることがたくさんあります。温かい言葉をいただいたり、私たちを待っていてくれる方やネットの上げ下げを手伝ってくれる方など、皆さんに支えられているなど感じることもあり、他の収集作業員と嬉しさを共感しています。

取材にて

回収作業中の写真を撮る際にも、ごみ袋がプレスされると「パン、パン」と袋が破裂し、水しぶきやほこりが舞い上がりました。ここにビンが入っていたらと思うと、とても危険を感じました。

正しい分別やごみの削減は、個人や家庭でできる小さな取り組みですが、収集作業員さんへの大きな応援にもなります。また、一人一人の環境に対する意識が、地球環境保護という大きな目的につながります。引き続きごみ減量に取り組んでいきましょう。

収集作業員の1日のスケジュール

8時30分

大口町役場で打合せ
収集作業出発



江南丹羽環境管理組合
環境美化センターごみ搬出

お昼休憩

収集作業再開



江南丹羽環境管理組合
環境美化センターごみ搬出
2往復

16時30分

搬出作業終了後
収集車の洗車・整備点検
帰社

